

マルコの福音書 6:7-13 使徒達の最初のミッション

教会の皆さん、おはようございます。今朝再び、皆様とご一緒に神のみ言葉を開くことができるのを嬉しく思います。マルコの福音書の学びを続けたいと思います。この数か月間、イエスのミニストリーを見てきました。イエスは病人を癒し、悪霊を払い、海の嵐を静め、少女を生き返らせました。今日の箇所ではイエスのミニストリーとその御国の宣言において新しい展開が見られます。今朝の聖書箇所はマルコによる福音書 6:7-13 です。短い箇所ですので、まず全てお読みします。

「また、十二人を呼び、二人ずつ遣わし始めて、彼らに汚れた霊を制する権威をお授けになった。8 そして、旅のためには、杖一本のほか何も持たないように、パンも、袋も、胴巻の小銭も持って行かないように、9 履き物ははくように、しかし、下着は二枚着ないようにと命じられた。10 また、彼らに言われた。「どこでも一軒の家に入ったら、そこの土地から出て行くまでは、その家にとどまりなさい。11 あなたがたを受け入れず、あなたがたの言うことを聞かない場所があったなら、そこから出て行くときに、彼らに対する証言として、足の裏のちりを払い落とすなさい。」12 こうして十二人は出て行って、人々が悔い改めるように宣べ伝え、13 多くの悪霊を追い出し、油を塗って多くの病人を癒やした。」

この時まで、説教し、癒しの奇跡を行い、悪霊を追い出してきたのはイエスお一人だけでした。そしてついにイエスが使徒あるいは「遣わされた者たち」と呼び、イエスが任命した12人の使徒たちが送り出されました。マルコの福音書 3:13-15 で読んだことを覚えておられるでしょうか。「さて、イエスが山に登り、ご自分が望む者たちを呼び寄せられると、彼らはみもとに来た。14 イエスは十二人を任命し、彼らを使徒と呼ばれた。それは、彼らをご自分のそばに置くため、また彼らを遣わして宣教をさせ、15 彼らに悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。」この特別な12人は、これまでにイエスと十分時間を共にし、その教えとメッセージを聞き、奇跡を目撃してきました。イエスが彼らを最初のミッションに送り出す時が来たのです。7節に「始め」とあります。イエスは彼らを遣わし始められたのです。この12人を召されたイエスのご計画が展開し始めたのを見ることができます。これは使徒たち最初のミッションでした。イエスと弟子たちによるミニストリーにおける新たな段階の始まりでした。今日は、弟子たちに与えられた最初のミッションについて3つの点について見ていきたいと思えます。1つ目にそのミッションが何であったか、2つ目にミッションがどのように果たされたか、そして3つ目にミッションがどのような影響を与えたかということです。それぞれの質問に答えた後、これらの点がイエスの弟子たちに、また私たちにどう関係し、適用されるべきかを見ていきます。そして最後に、私が、この箇所全体が指し示している点、つまり、使徒達に与えられたこの最初のミッションは一体何だったのかということに注目したいと思えます。一読しただけでははっきりとは分からないかも知れませんが、皆さんにもご理解いただくとよいなと思えます。ではまず、そのミッションとは何だったのでしょうか。7節でイエスが「7 二人ずつ遣わし始めて、彼らに汚れた霊を制する権威をお授けになった。」とあります。マルコが「ふたりずつ」、つまり2人一組で遣わされたということの詳細を示していることに注目してください。つまり、12使徒は6組に分けられ、それぞれパートナーと共に遣わされたと思われれます。一人ででもなく、12人ででもなく、二人一組で行ったのです。これは旧約聖書にある、少なくとも二人の証人がいることという条件に適っています。申命記 19:15 にはこのようにあります。「いかなる咎でも、いかなる罪でも、すべて人が犯した罪過は、一人の証人によって立証されてはならない。二人の証人の証言、または三人の証人の証言によって、そのことは立証されなければならない。」イスラエルの律法では少なくとも二人の一貫した忠実な証言を必要としました。その古代の原則に従って、イエスはご自分の証人として使徒たちを二人ずつ遣わされたのです。彼らはイエスとその信仰と悔い改めのメッセージ、つまり御国の福音を宣べ伝えるために遣わされました。加えて、イエスは汚れた霊を制する権威をお授けになりました。ここでの「権威」という言葉には力を持つという意味が含まれています。使徒たちには語るメッセージが与えられただけではなく、彼らが真のメッセンジャーであることを証明する権威と力が与えられたのです。こ

れまでイエスにしかできなかったことを彼らがし始めるのです。先に見たように、それは12人を任命したイエスのご計画でした。

ですから、弟子たちの最初のミッションとは何だったのかという問いへの答えは、**イエスを宣べ伝え、神に全面的に頼ること**でした。8-11節にあるのは、最初のミッションに関する非常に具体的な指示です。彼らがどのように使命を果たすべきかについて、イエスは詳細な指示を与えておられます。2つのことが指示されていますが、1つ目はこのミッションに向かうにあたり彼らが持っていくべきものについてでした。8-9節にはこうあります。「**そして、旅のためには、杖一本のほか何も持たないように、パンも、袋も、胴巻の小銭も持って行かないように、9 履き物ははくように、しかし、下着は二枚着ないやうにと命じられた。**」つまり、杖と、履き物と、一枚の下着しか持って行けませんでした。これは、ある程度の距離を歩くものの、寒い夜には上着が必要なことから、外で寝ることは想定されていなかったことを意味します。昼間は下着一枚で十分だからです。短い、一時的な旅でしたので、他には、パンも袋も小銭もいりませんでした。更に重要なことは、使徒たちの必要が満たされることをイエスが期待しておられたということです。このことは、使徒たちがどこへ行き、二通りの反応にどのように対応すべきかという二つ目の指示につながっています。10-11節をお読みします。「**10 また、彼らに言われた。「どこでも一軒の家に入ったら、その土地から出て行くまでは、その家にとどまりなさい。 11 あなたがたを受け入れず、あなたがたの言うことを聞かない場所があったなら、そこから出て行くときに、彼らに対する証言として、足の裏のちりを払い落としなさい。」**」彼らは食べ物もお金も夜の備えも必要ありませんでした、それは、訪れる村や町で、それらの物が備えられるからでした。エリヤやエリシャのような昔の預言者と同じく、神のメッセージを伝える相手のもてなしに頼るのです。ある家で歓迎されれば、彼らのメッセージが受け入れられ信じられたことを意味し、使徒たちは自分たちのミッションが終わるまでそこに滞在するように指示されました。その家は、その場所でミッションを果たす間、彼らの活動拠点となるわけです。けれど、ある家が彼らを拒むなら、彼らのメッセージを受け入れず、耳を傾けないことを意味し、イエスはそこから立ち去るように言われました。イエスはしかもこのように言っています。「**そこから出て行くときに、彼らに対する証言として、足の裏のちりを払い落としなさい。**」その行為は、使徒たちが自分たちの役割を果たしたことを象徴しています。使徒たちとそのメッセージを拒絶する人々は汚れたままで、神の裁きを受けることになるのだということです。その後、使徒たちは次の家か次の村へと向かいます。このようにして使徒たちは最初のミッションに出かけることになりました。

さてここでふと、このような指示は私たちにも当てはまるのだろうかと考えるかもしれません。ある意味、これらの指示は1世紀のパレスチナにおいて十二使徒だけに特別に与えられたものですから、私たちには当てはまりません。車や電車や自転車で移動するときにはもちろん、道を歩くときであっても杖を必要とすることはありません。上着を羽織らずに下着一枚で行きなさいという指示も私たちには当てはまりません。私たちが生きている社会と文化において、誰かの家に突然行って食事をもらい、一晩以上停めてもらうことを期待することもできません。ですが、神に全面的に頼りなさいという永遠の命令は、特に神が私たちにお与えになる使命を果たすためには、今でも私たちに当てはまります。私たちの務めは同じ。神に全面的により頼みつつ、行って福音を宣べ伝えることです。まず、私たちは、イエスを、救いの福音を、信仰と悔い改めのメッセージを、そして御国を宣べ伝えなければなりません。信仰を持たない家族、友人、隣人、同僚、同級生に福音を宣べ伝えているでしょうか。イエスの福音を知らない人たちに、福音を伝えているでしょうか。また、そのとき一貫して、完全に、明確にそのメッセージを伝えているでしょうか。私たちに与えられたメッセージには、罪と反逆という悪い知らせと、恵み、憐み、救いという良い知らせの両方が含まれます。また、信じて悔い改めることへの報いと、拒絶して不信仰と罪の中にとどまることの結果の両方が含まれています。足の裏のちりを払い落とす必要はありませんが、すべての人が聞き、応答できるよう、キリストのメッセージを明確に示すことが求められています。罪の宣告と地獄につ

いて語ることを避けていないでしょうか。神を拒み、悔い改めない罪人のままでいる者を神が罰せられることを伝えることを、恥じたり恐れたりしてはいないでしょうか。まだ救いに与っていない人たちは、彼らが置かれている現状と向かう先について聞く必要があります。私たちは彼らに、唯一の贖いの道としてキリストを示す必要があります。2つ目に、私たちも同じくミッションを与えられていて、神の導きと、備えと、力に全面的により頼むべきです。そして、その結果を神に委ねます。それが次に見ることです。

ミッションが与えられ、指示が出されました。2つ目の質問、ミッションはどのようにして果たされたのかを見ていきます。ミッションは使徒たちがただイエスを信頼し、イエスに従うことによって果たされました。12-13節にその簡単な説明があります。「12 こうして十二人は出て行って、人々が悔い改めるように宣べ伝え、13 多くの悪霊を追い出し、油を塗って多くの病人を癒やした。」使徒たちは彼らの主を信じ信頼しました。主に従って出かけていきました。偉大な先生によってすでに備えられ、命じられたこと、つまり人々に悔い改めを説き、悪霊を追い出し、病人を癒したのです。彼らはイエスの名を宣べ伝え、イエスを信じるよう説きました。それが悪霊を追い出し、病を癒す唯一の方法だったからです。この最初のミッションを果たす上で、新しい驚くべきことは、イエスが実際に傍にいて助けることなしに、これらのことを行うことができたということです。彼らは完全にイエスの言葉と力に信頼し、ただ従ったのです。

使徒たちのように、私たちは主イエスに信頼し、その命令に従うべきです。それが、何よりも神を愛することであれ、隣人を自分自身のように愛することであれ、自分たちの敵や自分を迫害する者を愛することであっても。御父のみこころを行うことであれ、天に宝物を蓄えることであれ、行って弟子を作ることであっても。これらの命令は4つの福音書だけにあるものではなく、パウロやペテロ、ヤコブやヨハネの命令も神とキリストの命令です。私たちは常に神のみ言葉全体を信頼し、それに従っているのでしょうか。人生において意図的に、また積極的に忠実で従順であろうとしているのでしょうか。キリストが私たちに与えてくださった使命を、ここ日本で、横浜で、一人のクリスチャンとして、また教会として果たしているのでしょうか。使徒たちがどのように最初のミッションを果たしたのか、私たちはその模範に従うべきです。信頼し従わなければなりません。

最後に3つ目の問いであるミッションがどのような影響を与えたのかについて見ていきます。弟子たちの最初のミッションの成果は何だったのでしょうか。再び13節をお読みします。「多くの悪霊を追い出し、油を塗って多くの病人を癒やした。」ミッションの成果は人々が自由を体験し、イエスの名が知られることによって証明されます。キリストから与えられたメッセージ、権威、力によって、使徒たちは人々を汚れた霊や病から解放することができました。イエスがナザレで手を置かれたのは「少数」であったのに対して、ここでは「大ぜい」であったことに注目してください。その前の5-6節でイエスについてどのように記されているのかを振り返ってみましょう。「それで、何人かの病人に手を置いて癒やされたほかは、そこでは、何も力あるわざを行うことができなかった。6 イエスは彼らの不信仰に驚かれた。」けれど、ここでは使徒たちが多くの人を癒し、力ある業をなしています。これは決してイエスが弟子たちよりも力が弱くなったとか、何らかの制限を受けるようになったといったわけではありません。ただ、不信仰ではなく、信仰を通してのみ働かれることを選ばれたということでもしかありません。使徒たちは自分たちのミッションの成果を目の当たりにして、このことを確かに認識しました。人々を悪から救い出したのは、彼らを通して現わされたイエスご自身の力でした。彼らはそのことを知った上で、イエスを宣べ伝えたのです。それが確かに分かるのは、次の節にこう書かれているからです。「さて、イエスの名が知れ渡ったので、ヘロデ王の耳にも入った。」使徒たちが悪霊を追い出し、病を癒した結果、イエスの名はさらに知れ渡るようになりました。人々が解放されるにつれ、イエスの名が高められ、その名が知れ渡っていきました。使徒たちはこうした結果をもたらすために神に用いられたのです。

私たちはどうでしょうか。自分の周りの人たちが罪と死の奴隷から解放されることを祈り求めているのでしょうか。霊的に失われた状態の人たちのために、憐みと祈りへと最後に心が動かされたのはいつでしょうか。神があなたを用いて、最後に誰かをキリストの救いに導かれたのはいつだったでしょう。私たちは、救われていない愛する人の贖いを主に願い求め、その救いのために神に用いられることを望むべきです。結局のところ、私たちは自分に与えられたミッションにおいてイエスに栄光を帰したいのです。使徒たちと同じく、私たちも同じような形で、同じようなミッションを与えられています。マタイの福音書 28:18-20 にはこのようにあります。「18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。 19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とみなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、 20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」弟子を作りたいという私たちの願いは、究極的にはキリストを称え、キリストの御名を賛美することを広めたいという私たちの願いの一部です。

今日のメッセージを締めくくるにあたり、マルコの福音書のこの箇所は、主に使徒に関すること、そして私たちのような弟子に関することであると考えられるかもしれません。もちろん、使徒たちの最初のミッションでした。ですが、見逃さないでください。弟子たちの最初のミッションは結局のところイエスを、ミッションを与え、可能にし、力を与え、確実にされる方を指し示しています。イエスは人の子であり、すべての権威と力を持たれる神の子であります。この箇所全体が将来のイエスの体である教会を予告しながら、イエスのミニストリーがどのように展開していくのかを示しているものの、すべてイエスについてであることに変わりはありません。知られるようになったのは、弟子たちの名ではなくイエスの名前でした。弟子たちは自分たちについて説教したのではなく、人々が悔い改めてイエスを信じるように呼びかけました。イエスの御名の権威と力によって悪霊を追い出し、病人を癒しました。自分たちの力ではないことを重々承知していたので、そのような偉大な働きを自画自賛したりしませんでした。すべて全能の神でおられる、彼らの主であるイエスの力を通して為されたことでした。30 節にはこうあります。「30 さて、使徒たちはイエスのもとに集まり、自分たちがしたこと、教えたことを、残らずイエスに報告した。」兄弟姉妹の皆さん、私たちもイエスのもとに戻った使徒たちのように、常に自分自身と他者をイエスに向かわせ、すべての栄光をイエスの御名にのみ帰するものとなりますように。キリストが再臨されるまで、私たち皆がそのような者でありますように。

Let us pray.

Mark 6:7-13 The Apostles' First Mission

Good morning, church. It is a joy to open up God's Word again with you this morning. We will be continuing our study of the gospel of Mark. In the past months, we have been following the ministry of Jesus: healing the sick, casting out demons, calming a stormy sea, and even bringing back a young girl to life. Today we will witness something new—a development in Jesus' ministry and proclamation of his kingdom. We will find that in our text this morning, **Mark 6:7-13**. It is a short text so let us first read it in full. **7 And he called the twelve and began to send them out two by two, and gave them authority over the unclean spirits. 8 He charged them to take nothing for their journey except a staff—no bread, no bag, no money in their belts— 9 but to wear sandals and not put on two tunics. 10 And he said to them, “Whenever you enter a house, stay there until you depart from there. 11 And if any place will not receive you and they will not listen to you, when you leave, shake off the dust that is on your feet as a testimony against them.” 12 So they went out and proclaimed that people should repent. 13 And they cast out many demons and anointed with oil many who were sick and healed them.”**

Up until this point, Jesus has been the only one who has been teaching and preaching, performing the miracles of healing and casting out of demons. Now, we see him finally calling and sending out the twelve disciples he appointed and named as apostles or “ones who are sent.” Remember, we read back in **Mark 3:13-15**: **13 And he went up on the mountain and called to him those whom he desired, and they came to him. 14 And he appointed twelve (whom he also named apostles) so that they might be with him and he might send them out to preach 15 and have authority to cast out demons.** These special twelve at this point have spent enough time with Jesus, hearing his teaching and message, witnessing his miracles. The moment has come for Jesus to send them out in their first mission. Notice verse 7 includes the word “began”: Jesus began to send them out. What we see here is Jesus' plan in calling these twelve starting to unfold. **This is the apostles' first mission.** Here is a beginning—a new phase in the ministry of Jesus and his disciples. Today, we will look at three points about this first mission given to the apostles: (1) what was the mission, (2) how was the mission fulfilled, and (3) what was the impact of the mission. After answering each question, we will see how each one relates and applies to us as well as disciples of Jesus. Then we'll conclude by focusing on what I think this whole passage actually points to—what this first mission given to the apostles is all about. And it might not be so obvious at first reading, so hopefully I will be able to convince you once you also see it.

So first, what was the mission? We read: Jesus **7 began to send them out two by two, and gave them authority over the unclean spirits.** Notice that Mark cared enough to include the detail of being sent out “two by two” or in pairs. So we can imagine the twelve apostles being divided into six pairs, each one going with a partner. They were neither to go alone nor as a whole group of twelve; rather they were to go by twos. This follows the Old Testament requirement of having at least two witnesses. **Deuteronomy 19:15: A single witness shall not suffice against a person for any crime or for any wrong in connection with any offense that he has committed. Only on the evidence of two witnesses or of three witnesses shall a charge be established.** The law of Israel required the consistent and faithful testimony of at least two persons. Following that ancient principle, Jesus sends the apostles as his own witnesses, two by two. They were to proclaim Jesus and preach his message of faith and repentance, the good news of the kingdom. In addition to that, Jesus **gave them authority over the unclean spirits.** The word “authority” here includes the idea of having power. The apostles were not only given a message but the authority and power to authenticate them

as true messengers. They will begin doing things that up until this point only Jesus has been able to do. As we have seen earlier, this has been Jesus' plan all along in calling the twelve.

So to answer the first question: what was the apostles' first mission? **Their mission was to go proclaim Jesus and fully rely on God.** What we see in verses 8 to 11 are very specific instructions regarding their first assignment. Jesus gives them detailed directions on how they should go about their mission. There are two parts to it: the first deals with what they could bring in their missionary travel. Verses 8-9: **8 He charged them to take nothing for their journey except a staff—no bread, no bag, no money in their belts— 9 but to wear sandals and not put on two tunics.** So they could only bring a walking staff, one pair of sandals, and one tunic or coat. This means they were going to walk a certain distance but are not expected to sleep outside as to require another coat for the cold night. Only one coat during the day is enough. They needed nothing else—no bread, no bag, and no money since it would be short and temporary. More importantly, Jesus expects the apostles will be provided for. This connects to the second part which instructs them where to go and how to deal with the two kinds of responses they will encounter. Verses 10-11: **10 And he said to them, “Whenever you enter a house, stay there until you depart from there. 11 And if any place will not receive you and they will not listen to you, when you leave, shake off the dust that is on your feet as a testimony against them.”** They would not need to bring food, money, and more protection for the night because those will be provided for them in the village or town they visit. Just like the prophets of old like Elijah and Elisha, they will be relying on the hospitality of some to whom they will be preaching God's message. And so when a house welcomes them, implying acceptance and belief in their message, the apostles were instructed to stay there until their mission is done. That house will act like their base while fulfilling their mission in that place. But if a household rejects them, meaning they would not receive and listen to their message, then Jesus told them to leave. Jesus even told them, **“When you leave, shake off the dust that is on your feet as a testimony against them.”** This act symbolized that the apostles have done their part. Those people who reject them and their message will remain unclean and under divine judgment. After that, the apostles should move on to the next house or even the next village. So this is how they were to conduct their first mission. Now we may stop here and ask ourselves: do these instructions also apply to us? In one sense, they don't since they were specifically given only to the twelve apostles in their first-century Palestine setting. We don't need a walking staff when we travel by car, train, bike, or even when we walk down on the street. The instruction to wear only one coat instead of two does not really apply to us anymore. In the society and culture we live in, we cannot simply enter somebody's house and expect them to feed us and let us stay for one night or more. And yet, the timeless command to fully rely on God especially in doing the mission He has given us still apply to us. Our task is the same: to go and proclaim the gospel fully relying on God. First, we are to proclaim Jesus, the good news of salvation, his message of faith and repentance, and his kingdom. Have we proclaimed the gospel to our unbelieving family, friends, neighbors, coworkers, classmates? Have we shared the good news of Jesus to those who have not heard of it? And when we do, do we proclaim the message consistently, completely, and clearly? The message given to us includes both the bad news of sin and rebellion, and the good news of grace, mercy, and salvation. It includes both the reward of believing and repenting, and the consequences of rejecting and remaining in unbelief and sin. While we do not have to shake off the dust from our feet anymore, we are expected to clearly lay out the Christian message for all to hear and to respond to. Do we shy away from talking about condemnation and hell? Are we somehow ashamed or scared to tell people that God will punish those who reject Him and remain as unrepentant sinners? Those who

are not yet saved need to hear about their present state and destiny, and we need to point them to Christ as the only way of redemption. Second, we who are also given a mission fully rely on God for His guidance, provision, and strength. We also entrust the results to Him. That's what we will see next.

So we see the mission has been given, the instructions are set. We proceed to ask our second question: how was the mission fulfilled? **The mission was fulfilled by the apostles through their simply trusting and obeying Jesus.** We read the simple description of this in verses 12-13: **12 So they went out and proclaimed that people should repent. 13 And they cast out many demons and anointed with oil many who were sick and healed them.** The apostles believed and trusted their master. They obeyed Him and went out. They did what they were already equipped and commanded to do by their great Teacher: they called people to repent, they cast out demons, and healed the sick. They proclaimed the name of Jesus and preached belief in Him since that is the only way their demons can be cast out and their sicknesses can be healed. What is new and amazing in their fulfillment of this first mission is that they were able to do it without the bodily presence and physical activity of Jesus. They completely trusted Jesus' word and power, and they simply obeyed.

Like the apostles, we should trust our master Jesus and obey His commands. Whether that is to love God above all things, to love our neighbor as ourselves, or even to love our enemies and those who persecute us. Whether it is to do the will of the Father, to lay up treasures in heaven, or to go and make disciples. These commands are not limited to just the four gospels, Paul's and Peter's and James' and John's commands are also God's and Christ's commands. Are we continually trusting the whole of God's Word and obeying it? Are we intentionally and actively pursuing faithful obedience in our lives? Are we going out and fulfilling the mission Christ has given us as individual Christians and as a local church here in Yokohama and in Japan? We must follow the example of the apostles on how they fulfilled their first mission. We must trust and obey.

We proceed to our third and last question: what was the impact of the mission? What was the apostles' first mission results? Again, we read in verse **13: And they cast out many demons and anointed with oil many who were sick and healed them. The impact of the mission is evidenced by people experiencing freedom and the name of Jesus being known.** The apostles, through their Christ-given message, authority, and power, were able to free people from the bondage of unclean spirits and illnesses. Notice the emphasis here on "many" in contrast to the "few" Jesus laid his hands on in Nazareth. We look back in that previous section where Jesus was described in verses 5-6: **he could do no mighty work there, except that he laid his hands on a few sick people and healed them. 6 And he marveled because of their unbelief.** But here we see the apostles healing many—doing mighty work. This could never mean Jesus was becoming less powerful or somehow limited compared to his disciples. It could only mean Jesus chooses to work only through faith and not unbelief. And the apostles certainly recognized this as they saw their mission results. It was still Jesus' own power manifested through them that delivered people from evil. They knew it was because of Jesus, and Him they proclaimed. We know this for sure because the next verse to our passage reads: **14 King Herod heard of it, for Jesus' name had become known.** The name of Jesus had become more famous as the result of the apostles casting out demons and healing the sick. The more people were liberated, the more Jesus' fame grew and His name spread. The apostles were used by God to bring about these results.

How about us? Do we pray and seek for the freedom of those around us from the slavery of sin and death? When was the last time you were moved to compassion and prayer for those who are lost spiritually? When was the last time God used you to bring someone to salvation in Christ? We must desire and seek the Lord for the redemption of our unsaved loved ones, and be actively willing to be used by God for it. Ultimately, we want to glorify Jesus in our own mission. Like the apostles, we have been given a very similar mission in a very similar way: [Matthew 28:18-20: 18 And Jesus came and said to them, “All authority in heaven and on earth has been given to me. 19 Go therefore and make disciples of all nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, 20 teaching them to observe all that I have commanded you. And behold, I am with you always, to the end of the age.”](#) Our desire to make disciples is part of our desire to ultimately honor Christ and to spread the worship of His name.

As we conclude today’s message, we may come to think that this passage in Mark we looked at is mainly about the apostles, about disciples like us. Yes, it is the apostles’ first mission. But do not miss it! **The apostles’ first mission ultimately points to Jesus**, the One who gives, enables, empowers, and ensures the mission. He is the Son of Man and the Son of God who possesses all authority and power. While this whole passage introduced a development in Jesus’ ministry, giving a preview into the future body of Christ—the church, it remains all about Him. It was not the name of the apostles that became known, it was Jesus’ name. The apostles did not preach about themselves—they called people to repentance and belief in Jesus. They cast out demons and healed the sick by the authority and power of Jesus’ name. They did not praise themselves for such a great work—they knew perfectly well this was not their own. It all came through the power of their master Jesus—who is Himself God Almighty. Down in verse 30 we would read: [30 The apostles returned to Jesus and told him all that they had done and taught.](#) Brothers and sisters, may we be like the apostles returning to Jesus, always pointing ourselves and others to Him, and bringing all the glory only to His name. May we all do this until Christ returns. Let us pray.